

[優良賞] 細径鉗子 Endo Relief



代表取締役
平田 稔氏

株式会社 平田精機

〒273-0128 千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山2-10-17

TEL. 047 (386) 2101

<http://hope-denshi.co.jp/hirata/>

平田精機は、外科手術用細径鉗子（かんし）「エンドリリーフ」を発売している。内視鏡を用いた外科手術で、手術部位を把持して円滑に施術するために使う。価格は25万円。

エンドリリーフは、組織をつかむ鉗子部分の太さは「ユーザーの人気の高い」（平田稔社長）という5ミリメートルのまま、鉗子と操作部の間を太さ2.4ミリメートルと従来品の半分にした。ワイヤでなくステンレス棒で鉗子に動力を伝え、棒の周囲をチタン製カバーで覆い、従来品の難点だった強度を確保した。

使用方法は、まずエンドリリーフのハンドルを外し、内視鏡挿入のために腹部に刺したトロッカーと呼ばれる筒にハンドル側の末端を通す。腹腔内で、同じく腹部に刺した別売りの「シャフトガイドPlus」で末端を体外へ出し、ガイドを抜いてハンドルを取り付ける。エンドリリーフの挿入で生じる傷は2.4ミリと小さく「約2週間で傷が消える」（同）。

鉗子の径を5ミリに維持したことにより、従来品では破ける可能性が高かったという大腸の把持も容易にした。エンドリリーフは分解して洗浄、滅菌処理することで再利用が可能。競合となる3製品と比較しても、使い捨てタイプだったり、鉗子径が細くて臓器損傷の危険性があったりと、経済性や操作性、安全性の点で優れている。倉敷成人病センター婦人科の安藤正明医師が200手術で用いても、異常は確認されなかった。発売1年半で販売した数は200本超。韓国や香港など海外にも販路を広げている。

